

所管課	教育推進部学校教育課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策											
	第3章 元気創造都市		03 学校教育		03 児童・生徒の心の居場所をつくる											
	事業：人権教育推進事業										整理番号	0549				
目的	人と人のつながりを豊かにし、一人ひとりの存在と可能性を大切にする社会の基礎をつくる。															
目標	①人を大切にする(いじめや差別を許さない)人権感覚の豊かな子どもの育成、②人権感覚を推進する人材の育成。															
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		1,356		コスト情報・評価	総コスト(千円)		3,102		総合評価 B 評価理由 人と人のつながりを豊かにし、一人ひとりの存在と可能性を大切にすることができた。	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		1,356		内訳	事業費		1,356		効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		1,746		有効性		B			
		地方債		0			公債費		0							
		一人あたり(円)		27												
		世帯あたり(円)		66												
	その他特定財源		0													
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	いじめや差別を許さない仲間づくり・集団づくりが児童・生徒の心の居場所づくりの基礎となっている。										
今後の方向性	①教職員の研修を強化する。②子どもたちのつながりを豊かにする集団づくりを進める。															

事業 優先順位		1 細事業：人権教育推進事業			整理 番号		02			
目 的		人と人のつながりを豊かにし、一人ひとりの存在と可能性を大切にする社会の基礎をつくる。								
目 標		①人を大切にする(いじめや差別を許さない)人権感覚の豊かな子どもの育成、②人権感覚を推進する人材の育成。								
事業 実施主体		直 営	事業開始 年 度	昭和47年度	根拠 法令					
事業費・財源	財 源 内 訳			平成24年度	比 較				平成24年度	比 較
		事業費（決算額）（千円）		1,356			総コスト（千円）		3,102	
		一般財源		1,356			事業費		1,356	
		国府支出金		0			人件費		1,746	
		地方債		0			公債費		0	
		その他特定財源		0			一人あたり（円）		27	
				0			世帯あたり（円）		66	
				0			職員数（人）		0.22	
				0			再任用職員数（人）		0.00	
今 後 の 方 向 性		①教職員の研修を強化する。②子どもたちのつながりを豊かにする集団づくりを進める。								
評 価	妥 当 性		効 率 性	有 効 性	対 象 者	教職員、児童・生徒				
	A		A	B						

事業：人権教育推進事業

市立各学校園において、人権を尊重し、部落差別をはじめとするすべての差別をしない、差別を許さない実践力と科学的認識を身につけた園児・児童・生徒を育成するため、全教育活動を通じて、積極的に人権教育を推進した。

また、教職員自らが人権尊重の精神に徹し、教育活動の中で人権教育を行うための研修会を実施した。

細事業：人権教育推進事業

1. 人権教育研究会助成事業

河内長野市人権教育研究会事業補助金 50,000円（人権教育活動冊子の作成）

2. 主催人権研修事業

研修会・実践交流会	回数	対 象 者	内 容
人権教育講座	1	幼・小・中教職員	「今、ここのいのち ～生きているだけで親孝行～」 講師 山下 文夫 氏（はすの会代表）
中学校区人研	各2	各校人研部職員	中学校区別交流会の実践
夏季人権教育研究集会	1	幼・小・中教職員	【全体会】 「子どもによりそい、一人ひとりを輝かせるために ～弥栄中学校の人権演劇を起点として～」 講師 澤田 清人 氏（京都市立花山中学校長） 【分科会】 ・仲間づくりA（幼・小低・中学年） ・仲間づくりB（小学校高学年・中学校） ・河内長野未来塾小学校、河内長野未来塾中学校 ・人権・部落問題学習部会 ・平和と国際理解部会 ・進路・学力保障部会 ・共生教育部会 ・環境・福祉・地域教育コミュニティ部会
現地学習会	1	幼・小・中教職員	岡山県 国立療養所 長島愛生園
冬季部会別研究集会	1	幼・小・中教職員	夏季研と同じ9分科会に分かれて実践交流会を実施 各分科会で講師または助言者を招聘して実施